

軍事秘

自昭和十九年八月一日
至昭和十九年八月五日

陣中日誌

獨立混成第十五聯隊第三大隊本部

FD
606

21430

甲 各人若ハ諸部團隊ハ總務考ハ遺過シタル度真況ヲ記載シ
一ニ戰史ノ用ニ資シテ各人ノ勤務ヲ他日銓衡スルノ參
考ニ供ス

乙 編制教育補充給養衛生武器彈藥器具材料被服裝具
等凡テ軍事關係ニ相華燭細察シ鑛務將來改善對料ト爲ス

第四

甲 目的ヲ達セシムルニシテ
一 命令訓令ヲ速報シ其執行ニ注意者ハ記載スヘシ
二 每日ノ位置(其尤クテ其末
地ニ留ル等)

三 行軍宿營ノ順序及陣營ノ位置
四 戰鬥ノ景況(其間ノ重要事項ハ詳細ニ記載スルモ
其時ノ部隊ノ位置及陣營ノ位置ハ略スル可シ)

五 戰鬥時ニ生シタル事件
以上ノ事ヲ証實ニカク時時詳細ニ記述セシムルニ各兵隊長等
關シ自己ノ部隊ニ對シテ戰術戰術ノ要領ニ對シ地形ノ險易道路ノ良否ノ入

隊ノ多寡等詳細ニ記述セザル可ラス

六 隊員シテ軍隊ノ區分(補給隊等)
兵人軍ノ異動

七 戰鬥時ノ遺失物及馬匹ノ其數ヲ録ス

八 隊中ノ宿營

九 野戰作業等ノ施設

十 其他凡ソ其一日隨ニ生シテ重要ノ事項

第五 乙 自前ヲ述セシムルニシテ諸件ニ注意シテ記載スヘシ

一 武器彈藥器具材料被服裝具等ノ關スルコト

二 編制及諸規令ノ作成上ニ及ボシタル影響等

三 補給及衛生ノ關係スルコト

四 教育及軍紀ノ關係スルコト

五 非常時ノ陣營及衛生ノ爲メタル非常處置例ハ敵地ニ在テ

陸軍大臣及總司令官ニ報告スル事

第六 行軍時ノ宿營地ノ選擇及陣營ノ位置等ハ總務考ニ記載スルコト

八月 晴

陸軍 二八

陸軍

大隊の隊員力ヲ以テ善ク第六中隊ヲ波平第五中隊
ヲ合シ隊ヲ渡慶次ニ位置セシメ現在務ヲ履行ス

教育

二〇九〇年三月三日(下士官以上)教育ヲ實施ス

深目夜間攻撃ノ要領ヲ習熟ス小隊攻撃部署要領

二〇九〇年三月三日大隊長幹部現地教育ヲ實施ス兵士教育

深目夜間攻撃ノ要領ヲ習熟ス小隊攻撃部署要領

場所伊賀省北側地區

命令

陸軍一等兵 陸軍上等兵

陸軍一等兵 陸軍一等兵

陸軍一等兵 陸軍一等兵

陸軍一等兵 陸軍一等兵

命令

第四大隊 命令

陸軍一等兵 陸軍一等兵

(井上)

命 今五津具命第三號
命 陸軍一軍兵
命 井上隊命令
八月一日
一 隊職明三三二日... 五聯作命第二
號二基方... 陸軍軍營... 越原茂信
日蓮下士官... 將校以下 二八名

(井上)

八月二日
行 勅
一 大隊長高尾五郎... 五聯作命第三號二基方... 高尾五郎... 行
二 兵八中隊軍營指導三軍紀教練ヲ實施ス。八〇〇
一〇〇〇二時間
三 富田主計中尉發着トシテ那霸症リテ發務
整理ヲ終リ一三〇〇歸隊ス。
讀谷山
日蓮下士官 陸軍軍營 藤井光男
將校以下 二九名
行 勅
一大隊長... 高尾五郎... 行
名西方一六〇高地附近... 出隊ス。

陸軍

宿營地
勸務
人員

八月四日

命 命 命
三井日命 第三號別紙 如シ

一六〇電 駐軍命令 駐軍準備 為明期迄
大隊 梱包全部ヲ北謝川 準備 集積スルキ旨ヲ受
ケ全カヲ以テ夜ヲ徹シ 梱包運搬ヲナシ概ネ〇三〇〇
頃 集積ヲ完了ス
讀谷山
日直下士官 陸軍軍曹 宮崎啓二
將校以下 二九名

別紙

井上命第一九號

井上隊命令

於讀谷

一 聯隊ノ企圖美作命第一七號ノ如シ

二 大隊ハ今歸仁ニ移駐セントス

三 第四中隊長 越少尉 及各中隊下士官以下一五名 (但本部下士官一兵
三) (二) 中下士官一兵 (一) トス (三) 荷物搭載 掛トナリ 長越少尉之ヲ指
揮シ 本日 八日 迄 北謝川 阜頭 到リ 聯隊 搭載 係 指示
ヲ受クベシ

四 富田主計 中尉 及 本部 各中隊ヨリ 下士官一兵ニハ 大隊 移駐
為ノ 設營ニ任スベシ 依テ 本日 九日 迄 讀谷山 國民學校 前
集令シ 卸 隊 副官ノ 指示ヲ受クベシ

五 神谷小隊 本日 一六日 迄 警備 配備 撤シ 中隊ニ 復歸スベシ
第六中隊 及 配屬 隊 八日 一七日 迄 本部 隊本部ニ 到着スベシ
爾餘ノ 各隊 八日 一八日 迄 出發 準備ヲ 完了スベシ

六 予ハ 讀谷山 國民學校ニ 在リ

大隊長 井上大尉

下達法命令受領シ 集メ口 通章 記後 印刷 交付

命	命	八月四日	宿營地	人員	將校以下 二九名	陸軍軍曹	宮崎塔二
命	命	命	命	命	命	命	命

一 大隊ハ瀨尾五郎作命 第七七號ヨリ早朝ヨリ移駐準備ヲナス
 二 大隊ハ今歸仁ニ移駐セトス
 三 第四中隊長長越少尉及各中隊下士官以下一五名(但本部下士官一兵ニ)ハ荷物搭載掛トナリ長越少尉之ヲ指揮シ本四日八日迄ニ北謝川車頭ニ到リ聯隊搭載係ヲ指示ヲ受ケルベシ
 四 富田主計中尉及本部、各中隊ヨリ下士官一兵ニハ大隊後駐、為ノ設置ニ任スベシ。依テ本日九日迄ニ讀谷山國民學校前ニ集合シ部隊副官ノ指示ヲ受ケルベシ
 五 神谷小隊ハ本日一六日迄ニ警戒配備ヲ撤シ中隊ニ復歸スベシ。第六中隊及配屬所ハ五日一七迄ニ部隊本部ニ到着スベシ。爾餘ノ各隊ハ明日一八日迄ニ出發準備ヲ完了スベシ
 六 予ハ讀谷山國民學校ニ在リ

別紙

井上命第一九號

井上隊命令

於讀谷

一 聯隊ハ企園美作命第一七號ノ如シ
 二 大隊ハ今歸仁ニ移駐セトス
 三 第四中隊長長越少尉及各中隊下士官以下一五名(但本部下士官一兵ニ)ハ荷物搭載掛トナリ長越少尉之ヲ指揮シ本四日八日迄ニ北謝川車頭ニ到リ聯隊搭載係ヲ指示ヲ受ケルベシ
 四 富田主計中尉及本部、各中隊ヨリ下士官一兵ニハ大隊後駐、為ノ設置ニ任スベシ。依テ本日九日迄ニ讀谷山國民學校前ニ集合シ部隊副官ノ指示ヲ受ケルベシ
 五 神谷小隊ハ本日一六日迄ニ警戒配備ヲ撤シ中隊ニ復歸スベシ。第六中隊及配屬所ハ五日一七迄ニ部隊本部ニ到着スベシ。爾餘ノ各隊ハ明日一八日迄ニ出發準備ヲ完了スベシ
 六 予ハ讀谷山國民學校ニ在リ

下重法命ニ受領シテ集口運筆記後印刷交付

大隊長 井上大尉

別紙

四十年... 陸軍大尉

井日命第三號

井上隊命令

一本職... 陸軍大尉

若本職不在... 陸軍大尉

右退院患者受領... 陸軍大尉

... 陸軍大尉

... 陸軍大尉

... 陸軍大尉

出張

一、本團... 二、本團... 三、本團... 四、本團... 五、本團... 六、本團... 七、本團... 八、本團... 九、本團... 十、本團... 十一、本團... 十二、本團... 十三、本團... 十四、本團... 十五、本團... 十六、本團... 十七、本團... 十八、本團... 十九、本團... 二十、本團...

	<p>四井作命第九號二旅、富田主計中尉仲條軍曹兵二八設營、爲一〇〇出發自動貨車二台目的地二面</p>
<p>山、中尉病氣、爲傳令一ト共二同行</p>	<p>五、若林軍曹以下三名、荷物塔載、トナリ長越少尉、指揮二入</p>
<p>居營地</p>	<p>讀谷山</p>
<p>勅務人員</p>	<p>日直下士官 陸軍軍曹 岩河虎一 將校以下二九名</p>
<p>八月五日</p>	<p>行 勅 一大隊長八橋花田旅作命、弟七號三基、幹部教育、參加、爲。七〇、山麓嘉守旅團司令部、</p>

一、被高馬車之取リ大隊糧秣ヲ先ツ恩納ニ運搬スヘシ
 二、大門中尉傳令ハ、當分、爾現在地ニ殘留シ交警師
 團トシテ能ハシオシ能ク了後速ニ本隊ニ進及スヘシ
 三、昨義ニ聞シテハ宮崎軍曹ヲシテ指示セシム
 四、八月五日ヨリ讀谷山國民學校ニアリ
 後部隊ノ名額ニ在リ

大隊長代理 橋本大尉

一、運搬命令受領者ヲ集メ、運搬事務後印別存

(井上)

三井作命	○ 號ニ基キ間光少尉以下三名大隊ノ設營 ノ爲メ、八〇〇出發恩納村ニ向フ
四、大門中尉傳令	ハ、交警師團トシテ、爲現在地ニ殘留 ス
五、陸軍兵長	中村一二三 慢性胃腸炎ノ疑ニテ、那覇至 軍病院ニ入院ス
六、大隊主刀	八橋本大尉ノ指揮言フニ、四〇〇出發夜行 軍ヲ以テ恩納村ニ向フ
七、讀谷山	
八、日直下士官	陸軍兵技軍曹 長谷川信一
九、將校以下	二八名
行	八月六日 一、大隊將士、夜間、恩納村ニ向フ、夜行軍ヲ行フ 二、大隊將士、夜間、恩納村ニ向フ、夜行軍ヲ行フ

見納村二別備ノ用意ナシ
民學校ニ大休止ヲ實施ス
命令ニ井作兼命第一張別紙ノ如シ

工上 陸 命

九・八・六
於見納國民學校

一 大隊ハ本六日現在地ニ於テ大休止ヲナシ爾後ノ行動ヲ準備セシム

二 本部各中銃隊ハ天々設営者ノ指示ニ依リ大休止ヲ實施スベシ

三 大休止間ノ勤務員左ノ如シ

部隊日直將校 第五中隊 義井 少尉

巡察下士官 同 伍長 一

部隊衛兵 同 司令(下士官者ニ兵長ニ)

歩哨掛 一

歩哨 三

四 給養ノ關シハ宮崎軍曹ヲシテ指示セシム

五 緊急集會所ハ於庭空襲ニ際シテハ校庭南側附近ニ於テ第機銃中

隊ハ全力ヲ以テ對空射撃ヲ任ズベシ

六 出發ハ六日ニ四回ノ豫定スルモ別命ス

七 予ハ大隊本部ニ在リ

大隊長代理 橋本 大尉

下達法 命令受領者ヲ筆口連筆 記セシム

三間光少尉以下三名設營ノ為〇九〇。出發名護二向ヲ
命 令 四井作輸命 第三號

井上藤命令

八月六日七〇。
於恩師國學校

一大隊ノ本夕現在地ヲ出發名護ヲ經テ中營根ニ前進
セシトス

二本部各中銃隊ハ六日三三。迄夜度ニ四面ニ縱隊
隊一線ニ集谷スハシ出發ハ三四〇。キルモ別命トス

三行軍序列 本部 第一中隊 第二中隊 第四中隊
第三機閉銃台隊 順序

四間光少尉官時軍曹中自兵長ハ現在地〇九〇。發光
シ名護側ニ據ル。故地則隊中前不連絡ニ據ル。故地則隊中前不連絡ニ據ル。

五間光少尉以下七名ニ據ル。故地則隊中前不連絡ニ據ル。
隊中前不連絡ニ據ル。故地則隊中前不連絡ニ據ル。

六間光少尉以下七名ニ據ル。故地則隊中前不連絡ニ據ル。
隊中前不連絡ニ據ル。故地則隊中前不連絡ニ據ル。

八月七日
要略

勤務人員

若營地
勤務人員
將校以下二十八名

行勤

五、大隊八三〇日迄大休止後二四〇日出發夜行軍ヲ以テ
名護ニ向フ

行勤

下達法命令受領者ノ集ム由連筆記セシム
大隊長代理 橋本大尉

七、部隊衛兵ハ三三〇名撤收スシ
八、給養期間ニテハ官制軍費ヲシテ指示セシム
九、予ハ三四〇日恩納國民學校ニ在リ爾後部隊先頭
ヲ前進ス

任スルシ

七、部隊衛兵ハ三三〇名撤收スシ

八、給養期間ニテハ官制軍費ヲシテ指示セシム

九、予ハ三四〇日恩納國民學校ニ在リ爾後部隊先頭

ヲ前進ス

大隊長代理 橋本大尉

下達法命令受領者ノ集ム由連筆記セシム

五、大隊八三〇日迄大休止後二四〇日出發夜行軍ヲ以テ

名護ニ向フ

恩納村國民學校

陸軍軍曹 藤井光男

日直下士官

將校以下二十八名

行勤命令

一、大隊ハ途中時々豪雨ニ見舞ハレツ、夜行軍ヲ以テ九〇〇
名護國民學校ニ到着シ爾レ少尉ノ設営ニテ大休止ス
八月七日
八、給養期間ニテハ官制軍費ヲシテ指示セシム

井上隊長命令

一、大隊ハ現在地ニ於テ大休止ヲ實施セシム

二、各隊ハ設営者ノ指示ニ依リ大休止スルシ

三、勤務員等如シ

部隊日直將校 第六中隊 田村少尉

巡警下士官 同 伍長一

部隊衛兵 同 司令官(將)一歩哨三

四、給養期間ニハ官制軍費ヲシテ指示セシム

五、緊急集合場ノ設営ハ本營ニシテハ第三機附銃中

隊ハ全カヲ以テ及度四機附銃ニ於テ對空射撃ニ務メシ

六、出發ハ八日四時ト予定スルヲ命令ス

陸軍

七予ハ大隊本部ニ在リ
 大隊長代理 橋本大尉
 下達法令受領者ヲ集メ口達筆記セシム
 命 令 三井作輸命 第四號
 井上 隊 命令 令
 一 大隊ハ明八日四〇〇。現在池出發 伊差川一具我ヲ經テ今歸
 仁村 謝名ニ向ヒ前進セントス
 二 本部各中銃隊ハ八日三〇〇迄ニ校庭ニ校舎ニ正面ニ縱
 隊 横隊一課ニ集合スヘシ
 三 宮崎 軍曹 中田兵長 故事勤務 兵士右ハ七七日七〇〇
 現在池ヲ出發 速ニ謝名ニ向ヒ前進シ 該地ニ於テ宮田主
 計主尉ノ指示ヲ受クヘシ
 大隊 總隊ヲ同行スルモトス
 四 部隊 衛兵ハ八日八〇〇 撤收スヘシ

（五）

着管地	名護國民學校
勤務	日直下士官 陸軍兵長 中田芳雄
人員	將校 兵士 八名
入月八日	
行	大隊本部 各名護國民學校 出發 其後ニ於テ今朝 食糧ヲ準備シ 九日 行

五 古賀 軍醫少尉ハ部隊 最後尾ヲ前進シ 患者ヲ收容 處置ニ任スヘシ
 新馬車三車輛ヲ配屬ス
 六 給養 食料シテハ宮崎 軍曹ヲ指示セシム
 七 予ハ八日四〇〇名護國民學校ニ爾后部隊ノ先頭ニ在リ
 大隊長代理 橋本大尉
 下達法令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

奉命右遊兵中令...
 二大隊長公派團...
 校二隊

命 今三井作命第二號別紙ノ如シ
 命 今四井作命第二號別紙ノ如シ

別紙

井作命第二号

上 隊 命 令

一九二九年八月廿四日

一 大隊八本八日以降主カヨ以テ今歸仁國民學校ニ一部ヲ以テ兼以
 國民學校ニ駐屯セントス

二 大隊本部第五中隊 第六中隊 第三機銃中隊 (今歸仁國民學校ニ第四中隊 第三機銃中隊ニテ) 小隊ハ兼以國民學校
 ニテ駐屯ス

三 營倉倉集令場ハ校庭トス

四 部隊ニ際シテハ各隊ハ夫々左ノ地區ニ極力疎開ス
 大隊本部 第五中隊 校庭北西側地區
 第六中隊 第三機銃中隊 校庭前廣場南西地區

五 對空射撃ハ大隊長ノ命令ニ依リ全カヲ以テ行フ
 各隊ハ九月一九日迄ニ前項各地區ニ立射用各個散兵壕
 ヲ構築ス

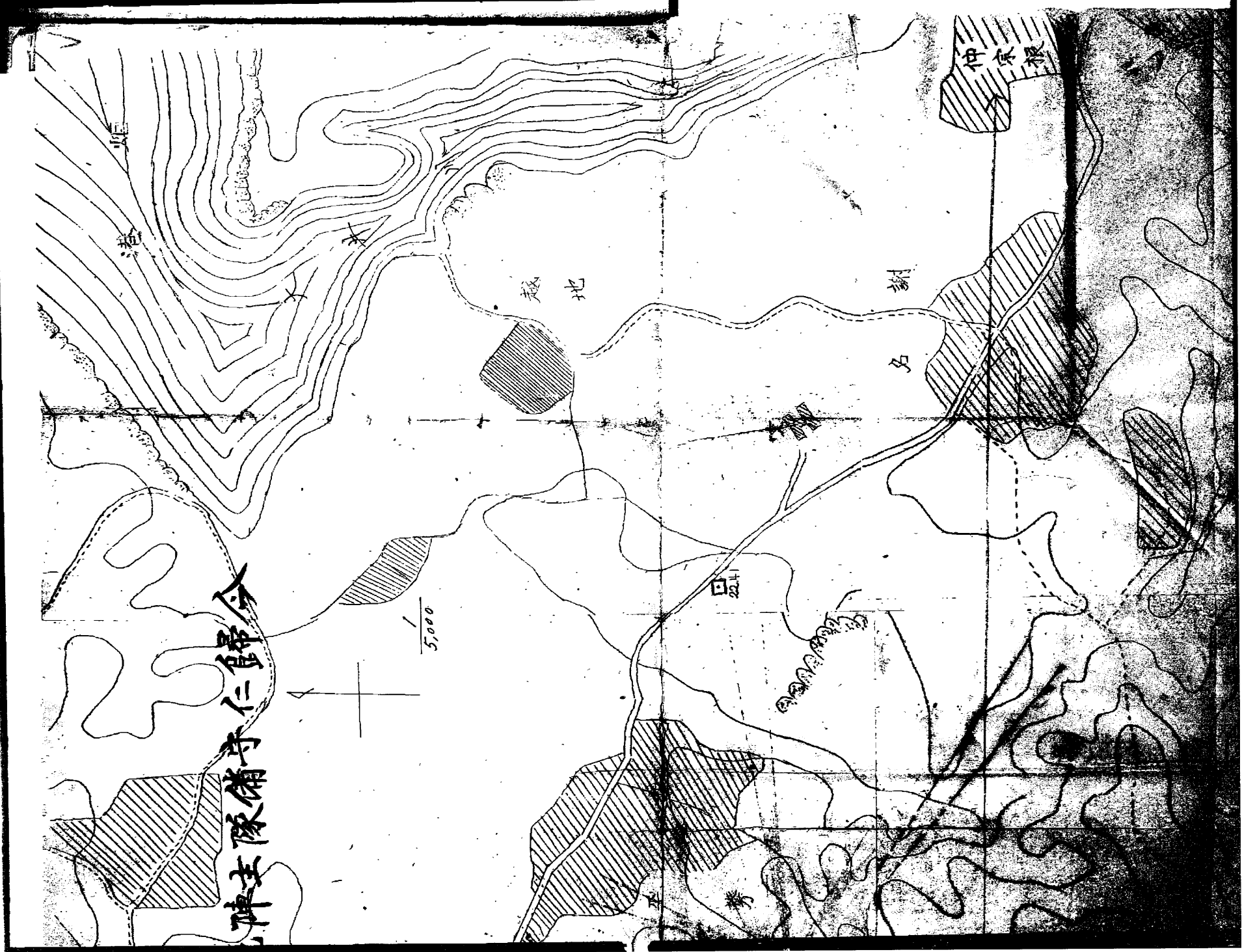
向部ニ關シテハ團中對指示ス

六 次駐比領事館ハ第三第四第五項ニ關シ繪本大尉区

七 外務省ニ關シテ八富田主計中尉ヨシテ指示セシム

八 予ハ今録仁國氏學校ニ在リ
大隊長 井上大尉

予ハ今録仁國氏學校ニ在リ



仲家根

名謝

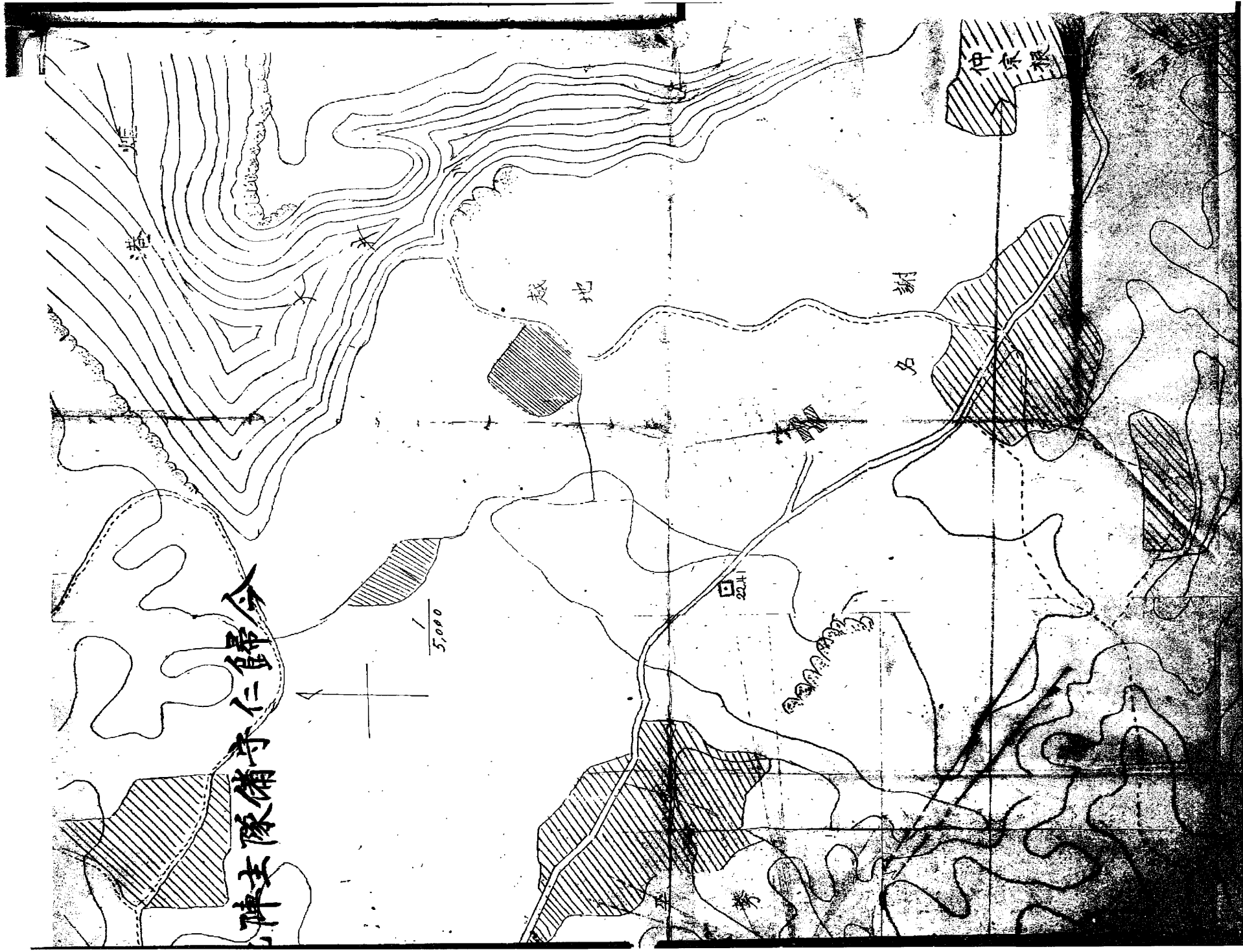
越地

港

陣主隊備守仁歸今

5,000

口



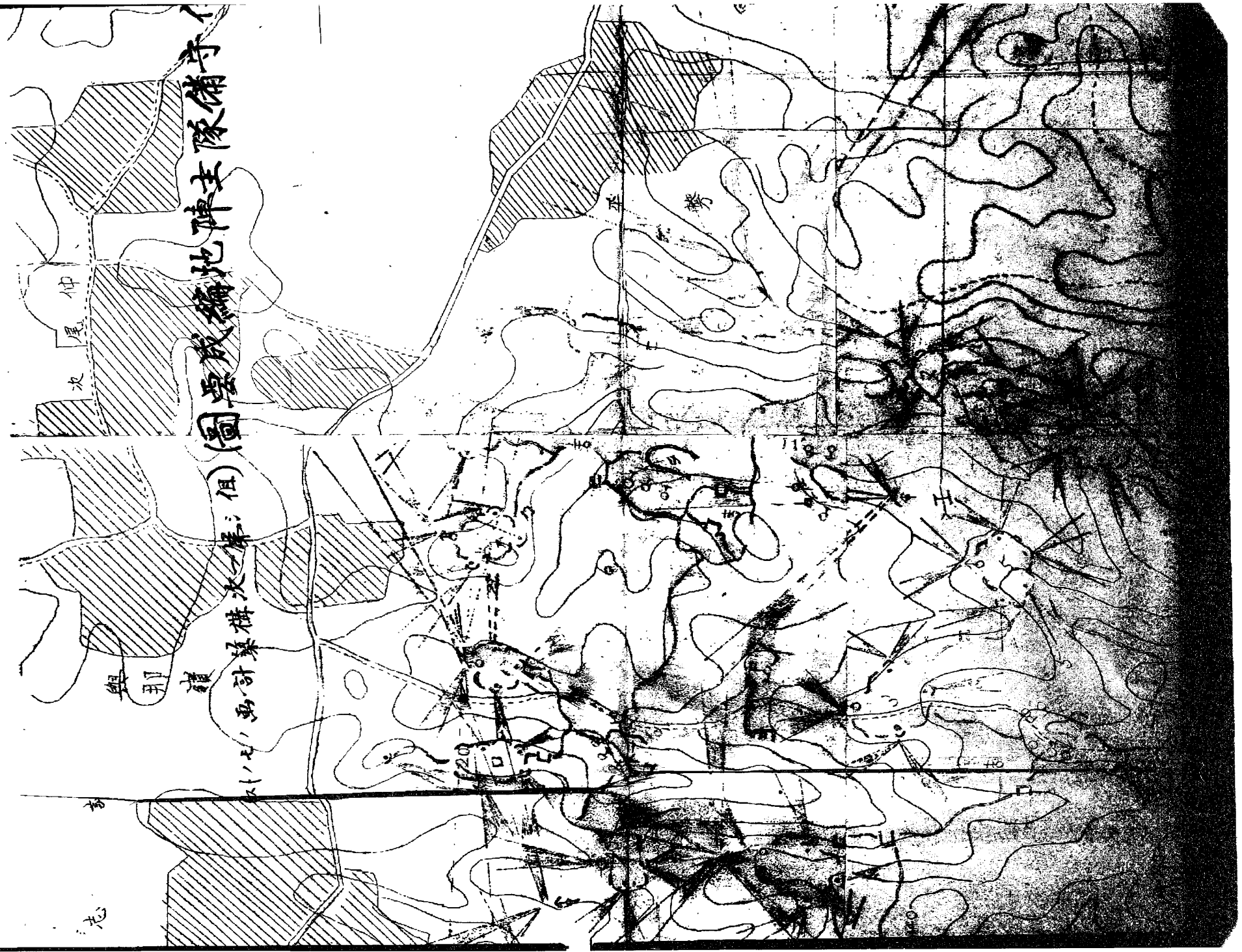
志

與那嶺

水尾仲

伊予備隊陣地編成要圖

第一編 陣地構算圖



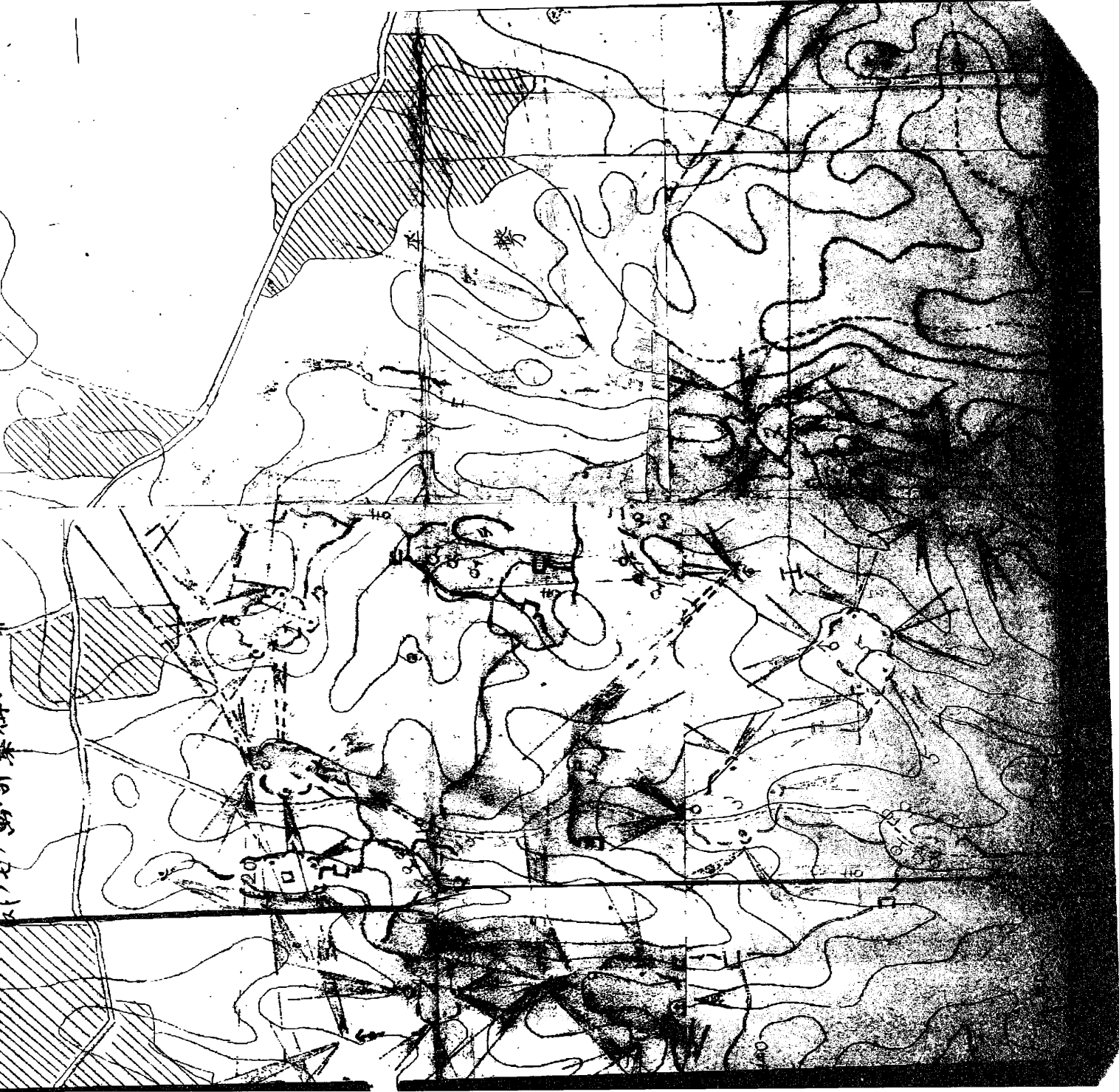
本營

與那嶺

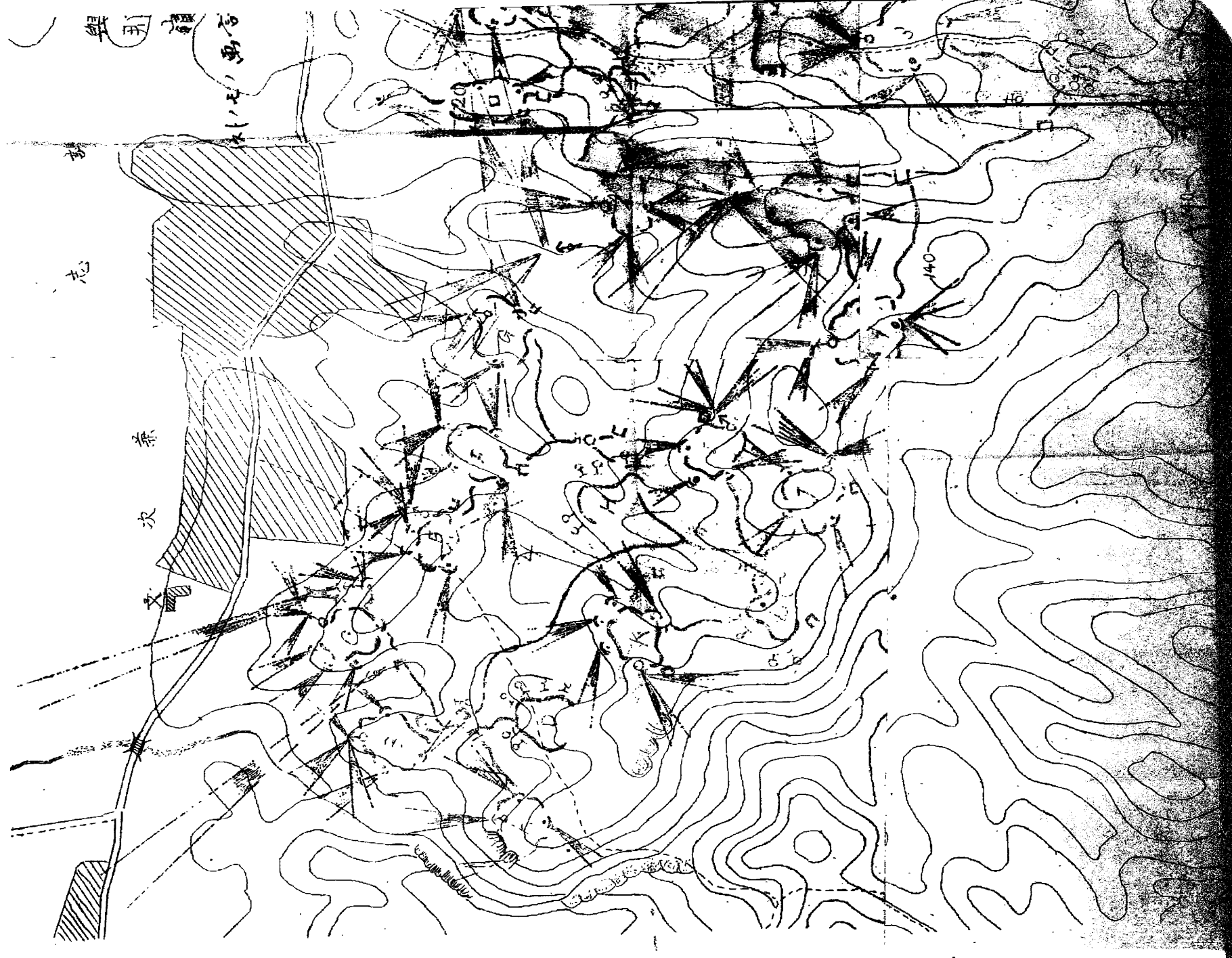
尾仲次

守備隊陣地編成要圖(但)

三、第一構築計畫



峯



興利鎮

文次

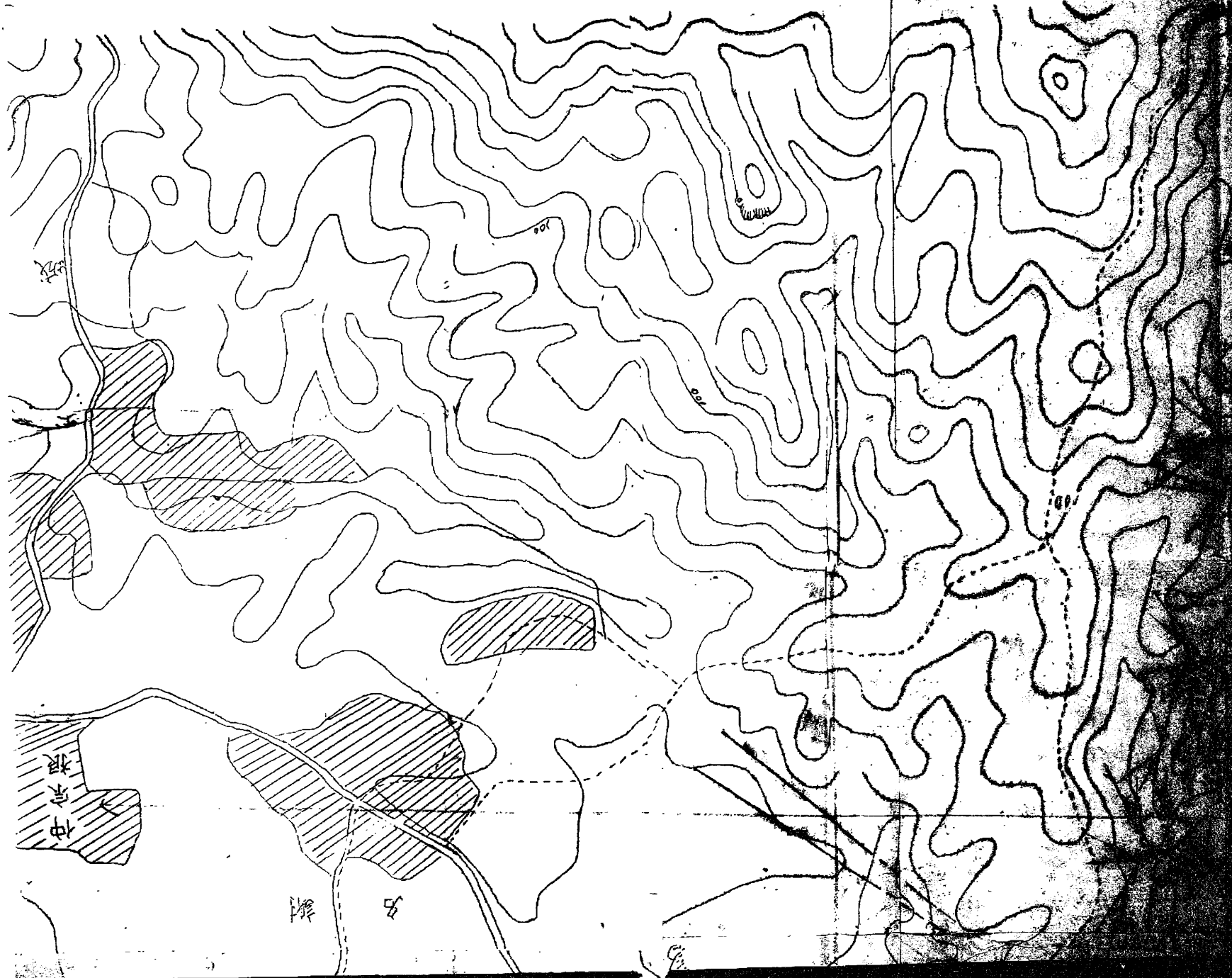
志

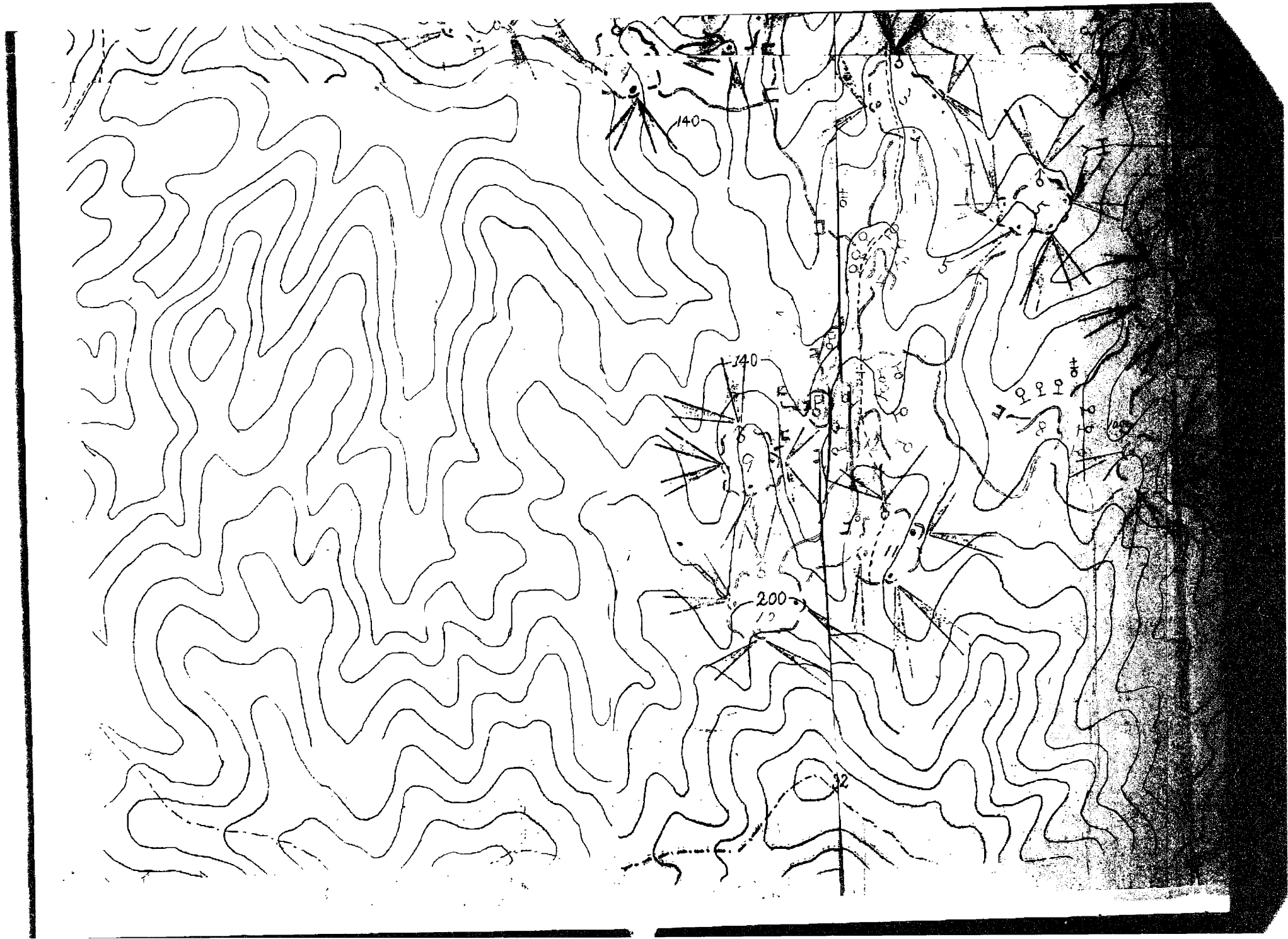
文

次

140

120





井上隊命令
一、二月九日ヨリ部隊衛兵ヲ左ノ如ク差出服務スルニ

九月
十月
十一月

第一中隊
第二中隊
第三中隊

三、指管間ノ日課時限ヨリ如ク差出

三、日直將校左ノ通服務スルニ
九日
十日
十一日
十二日
十三日
十四日
十五日
十六日
十七日
十八日
十九日
二十日
二十一日
二十二日
二十三日
二十四日
二十五日
二十六日
二十七日
二十八日
二十九日
三十日

十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

美
共
步
少
少
少
少
少
少
少

陸軍
陸軍
陸軍
陸軍
陸軍
陸軍
陸軍
陸軍
陸軍
陸軍

呂
謝
呂
謝
呂
謝
呂
謝
呂
謝

五
昔者
陸軍
兵長
荒井
三郎

昔者
陸軍
勤勞
命

陸軍

五夫隊八年前中兵器被服，午入午右，環境，整理

實施

六田中衛生伍長，患瘧疾起，為那霸陸軍病院
又院中，處本日治愈退院歸隊

今歸任國民學校

日直下士官 陸軍軍曹 仲藤嘉春

將校以下二十九名

省營地
勤勞
人員

八月九日
晴

一大隊長，今歸任村附近防禦，為地形偵察二〇七〇
出機二五〇歸隊，關中村以下三名隨行者

二大隊長地形偵察，結果各中隊，陣地，掩護，各中
隊，未細察，偵察，命令，各隊，偵察

三、海軍軍曹以下三名，偵察，偵察，偵察，偵察



井

着營地
勤務
人員

爲〇八〇出發一六〇歸隊
四仲條軍曹以下〇名防空用各個掩護ヲ構築ス
今歸仁
日直下士官 陸軍軍曹 岩淵 亮一
將校以下二九名

八月十日
晴

行 勤

一大隊長宇備地區地形偵察、爲〇八〇出發一三〇歸
隊ス

二仲條軍曹以下二三名昨日二引續々防空用各個掩護
構築ス

着營地

今歸仁

勤務

日直下士官

陸軍兵長

中田 芳雄

人員

將校以下二九名

井

陸軍

八月十日

行 勤

一大隊長第四中隊防禦陣地占領指導、爲
〇七〇〇出發一三〇歸隊ス

二関中尉大隊、指揮所、偵察、爲〇七〇〇出發
一三〇歸隊ス

三大隊長本部ト第四中隊間ニ有線通信通ス

命令 四井日命 第二四號

井上 隊命令

八月十日

一明一二日一三三〇ヨリ部隊長ノ内務巡視ヲ實施
セラル 依テ各中隊ハ別紙ノ道心得ハシ

陸軍

陸軍

